

総務省 統一QR「JPQR」 店舗向け導入説明資料

総務省 統一QR「JPQR」普及事業
事務局

JPQR普及事業コールセンター：0120-206-100（平日9:00～18:00）

本日のご説明の目的

本日は、滋賀県の商店街関係者様に、「JPQR」について知っていただくとともに、ぜひ加盟店舗様への導入につきましてもご検討いただきたく考えております

01

キャッシュレスと「JPQR」

02

なぜJPQRがおすすりめなのか

03

JPQRを導人するにはどうしたらいいか

1 . キャッシュレスと「JPQR」

キャッシュレスの現状-QRコード決済の特徴とは？ -

キャッシュレス決済とは現金を使わない決済方法のことです。キャッシュレス決済には3つの決済方式がありますが、QRコード決済はその手軽さから注目を集めています。

本日まで説明する

JPOR は
QRコード決済です！

代表的なキャッシュレス決済

クレジットカード デビットカード



ユーザーが提示する磁気・ICカードの情報を接触型の専用端末で読み取り、決済する方式

電子マネー



ユーザーが提示するICカードやスマートフォン等の情報を非接触型の専用端末で読み取り、決済する方式

QRコード決済



店舗が提示するQRコードの情報をユーザーがスマートフォン等で読み取り、決済する方式

店舗提示型の場合

長所

- 利用者が多い
- 高額決済時でも利用可
- 付帯サービスが充実

長所

- 交通利用など利用者が多い
- 決済スピードが速い

長所

- 維持・導入コストが不要
- 相対的に手数料が安い
- 入金までの期間が短い

短所

- × 導入・維持費用（端末・通信）
- × 手数料が高い（業種・規模）
- × 入金までの期間が長い

短所

- × 導入・維持費用（端末・通信）
- × 手数料が高い（業種・規模）
- × 入金までの期間が長い

短所

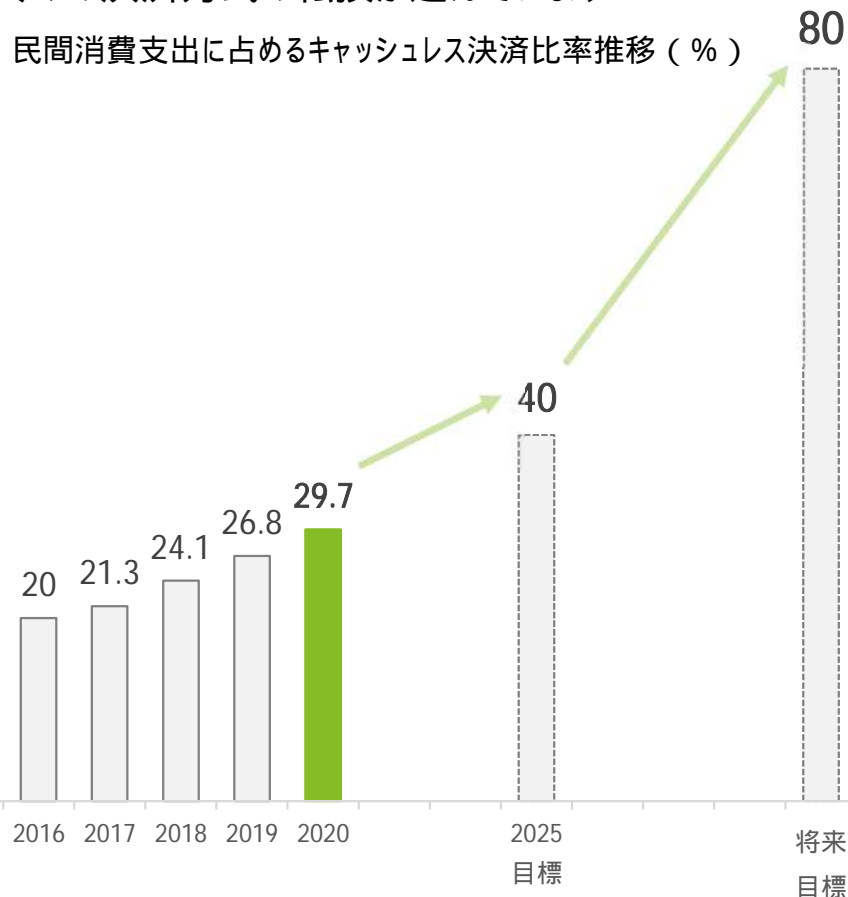
- × 普及段階にあるため、不慣れなユーザーは決済に少し時間がかかる

日本のキャッシュレスの最新状況

キャッシュレスは政策的後押しやスマートフォンの普及、コロナ禍などの様々な要因で、現在急速に普及し、流れが後退する兆しは今のところ見られておりません

キャッシュレスサービス普及の現状と将来目標

政府の意欲的な目標、スマートフォンの機能進化などの要因により、人々の決済方式の転換が進んでいます

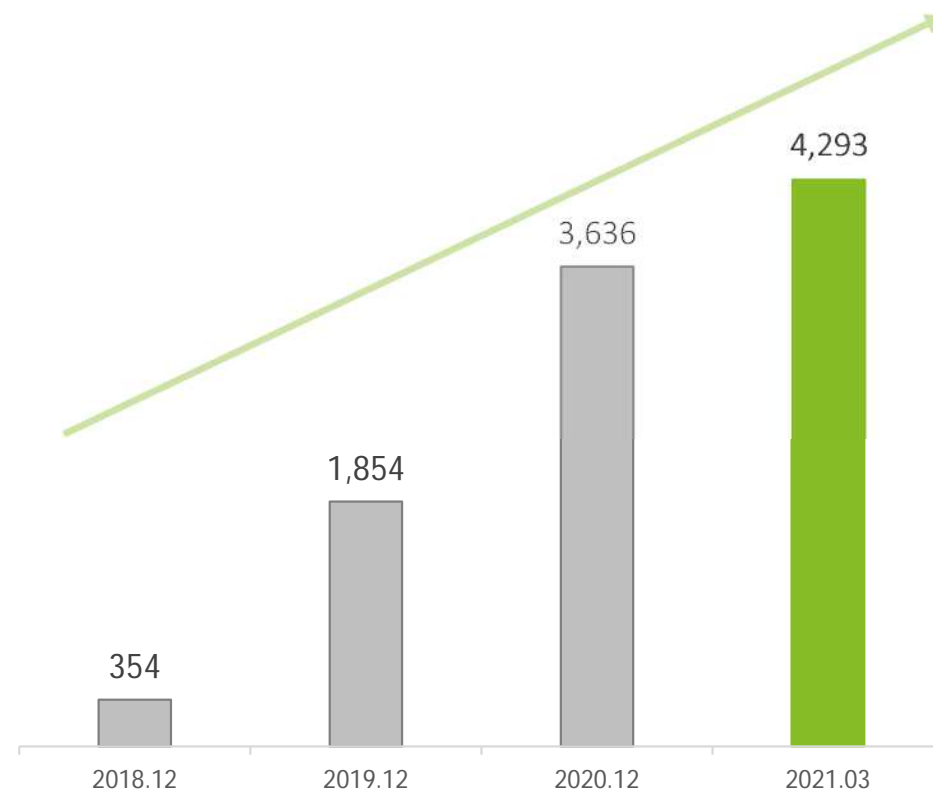


出所：経済産業省より作成
https://www.meti.go.jp/shingikai/mono_info_service/cashless_payment/pdf/2021_001_04_00.pdf

キャッシュレスサービスに占めるQRコード決済

特に近年注目を集めるQRコード決済サービスの利用者の伸びは著しく、2年で10倍近くユーザーを増やしました

QRコード決済月間アクティブユーザー数 (万ユーザー)



出所：キャッシュレス推進協議会 より作成 (https://www.paymentsjapan.or.jp/publications/research/pymt-trends/code-payment/code-pymt_20210531/)

なぜキャッシュレスがここまで普及したのか-コロナ禍とキャッシュレス-

厚生労働省が進める新しい生活様式において、キャッシュレスの利用が推奨されています
それにともない、キャッシュレスの利用を始める人も大幅に増加しました

新型コロナ対策としてのキャッシュレス

新型コロナウイルスの感染拡大は、人々の衛生意識の向上と、生活習慣の変化をもたらしました

厚生労働省「新しい生活様式」の実践例

買い物

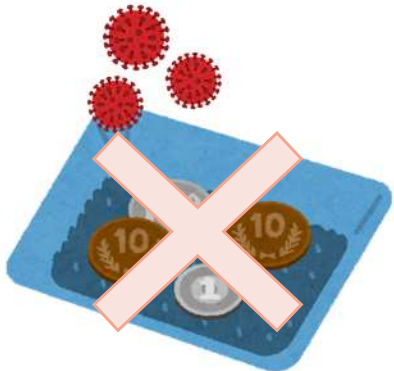
- 通販も利用
- 1人または少人数ですいた時間に
- 電子決済の利用
- 計画をたてて素早く済ませます
- サンプルなど展示品への接触は控えます
- レジに並ぶときは、前後にスペース

・日本フードサービス協会
・全国商店街振興組合連合会
・日本小売業協会
などの業界団体のガイドラインに、
「キャッシュレス決済の利用促進」追加

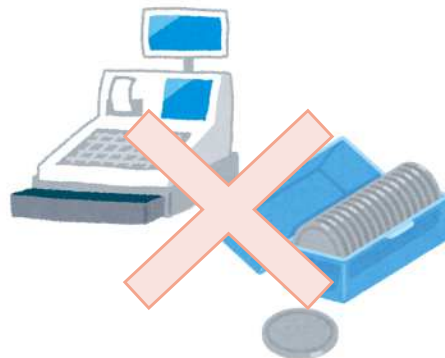
出所：厚生労働省 より作成
(https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/0000121431_newlifestyle.html)

なぜ「コロナ対策としてキャッシュレス」なのか

現金を媒介とした接触
機会の抑制



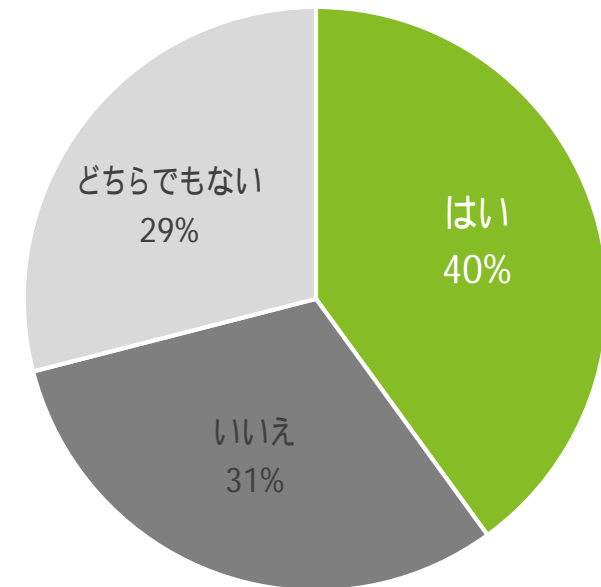
レジ締回数の削減などの店舗
効率化による店員数抑制



コロナをきっかけとしたキャッシュレス利用

今まで現金派だった方も含めて、考え方をさえざるを得ないほど大きな意識変革をもたらしました

新型コロナウイルスの影響でキャッシュレス決済を以前より利用するようになりましたか？



出所：Money Forward「『コロナ禍の個人の家計実態調査』」
(<https://corp.moneyforward.com/news/release/service/20200526-mf-press/>)

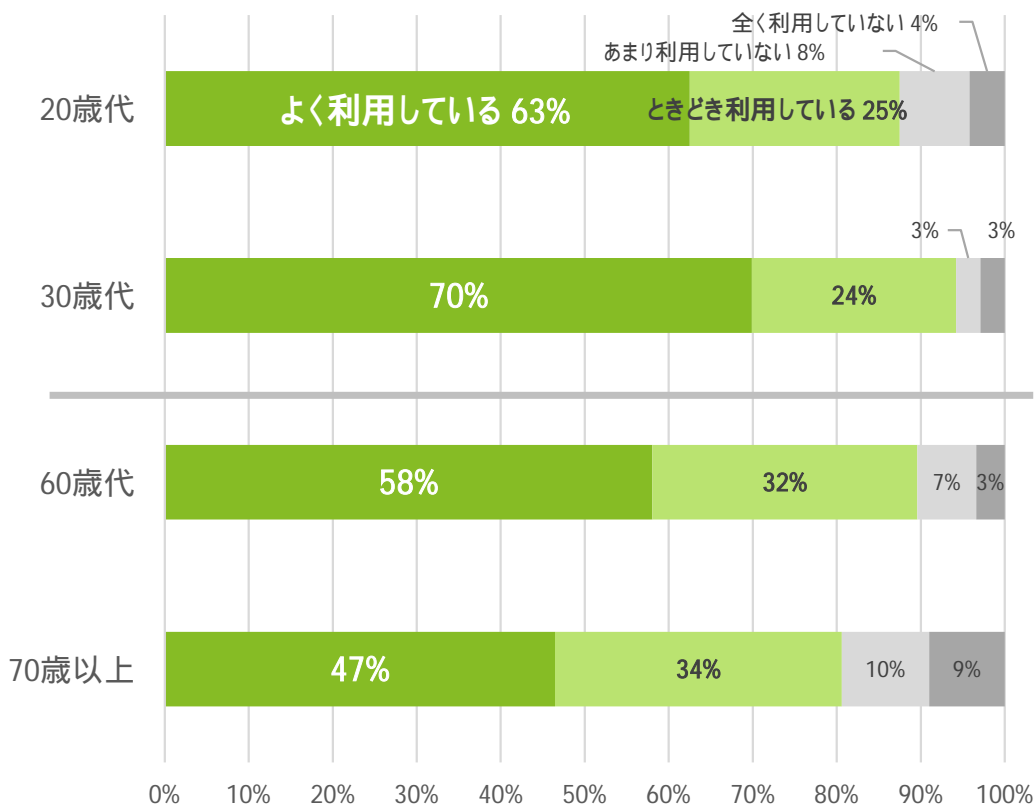
誰がキャッシュレスを使っているのか

キャッシュレスは一般に現金主義と思われる年配層にも普及しつつあります
 またキャッシュレスに慣れたお客様はキャッシュレスを好み、使い続ける傾向にあります

キャッシュレスユーザーの年齢層

今や7割近くの方がキャッシュレスを日常的に利用しています
 若年層に限らず、年配の方含め幅広く利用が広がっています

消費者庁調査「あなたはキャッシュレス決済をどの程度利用していますか。」

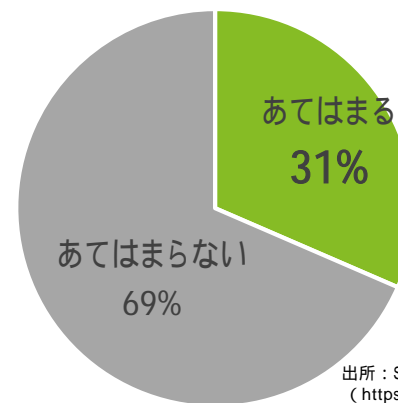


出所：消費者庁
 (https://www.caa.go.jp/policies/policy/consumer_research/price_measures/assets/price_measures_210118_0001.pdf)

キャッシュレスユーザーの消費行動

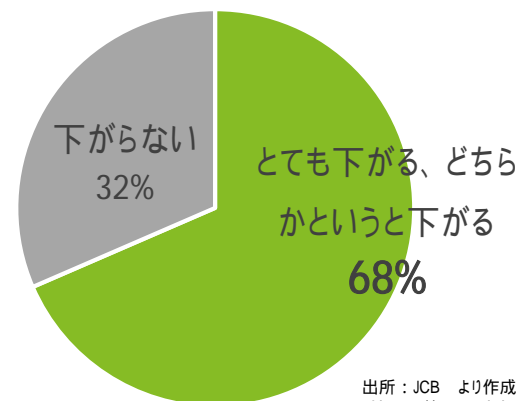
一度キャッシュレスに慣れた方は、キャッシュレスは便利で、使い続けたいと考える人が増えています

現金のみ対応の店舗で来店をやめたことがあるか



出所：Square×MMD研究所
 (https://mmdlabo.jp/investigation/detail_1909.html)

キャッシュレス決済が利用できないとわかった店舗について、利用意欲が下がりますか。



出所：JCB より作成
 (https://www.global.jcb/ja/press/2020/202008210001_others.html)

総務省 統一QR「JPQR」の概要と導入実績

「JPQR」はたくさんある決済QRコードを、1枚にまとめたQRコードの規格であり、小売業、飲食業を中心に導入店舗が広がっています

JPQRの概要

- ✓ 国内大手QRコード決済サービスを含む、約20社のQRコードに対応した、統一的なQRコードです
- ✓ 店頭には、JPQRを一つ置くだけで複数のQRコード決済に対応できます

対応決済サービス（R3.10月時点）



導入実績等

- ✓ JPQRは、これまで小売業や飲食業をはじめ幅広い業種のみなさまに導入されてきました
- ✓ 導入件数も、徐々に増加し、現在のところ全国約12,000店舗*に導入済となっています

*MPM方式にてお申し込みをいただいた総数



出所：JPQR HP（<https://jpqr-start.jp/shop/>）

*1福岡銀行のみ対象 *2楽天ペイ（アプリ決済）
LINE Pay の新規受付は9月30日で停止しました

JPQRの使い方、売上管理方法

「JPQR」は、3ステップで簡単に決済できます。決済の際、接触することはありません。
また、店舗別の売上や入金日は、2つの管理画面でいつでも確認することが可能です

JPQRの決済方法

Step1. お客様が、スマホの決済アプリでQRコードを読取



Step2. お客様が金額入力し「支払」ボタンを押す



Step3. 画面を店員に見せ、確認し、決済完了！



決済方法動画公開中！



店舗売上管理

店舗の売上管理は、Webで閲覧可能なJPQRの売上がまとめて閲覧できる「JPQR売上管理画面」と返金処理等のより詳細な操作が可能な「各社が提供している売上管理画面」の2つをご利用いただけます。

JPQR売上管理画面

JPQR対応の各社サービス管理画面へのリンクや決済履歴をまとめて管理できる画面です



一部サービスのみ対応が準備中

各社が提供している売上管理画面

タイムリーな売上管理、返金処理等、登録情報の変更等が可能です



参考：JPQR売上管理画面（画面イメージ）

利用者の声を反映し、今年度より便利にリニューアルしました。連携した決済サービスの売上をまとめて閲覧できます。更新ボタンを押すと最新情報を取得でき、またCSVでのダウンロードが可能です

店舗JPQR売上管理画面におけるInternet Explorerのサポート終了のお知らせ

決済履歴 **更新**

本日 前日 前々日 2021/05/29 2021/06/28 表示

CSVダウンロード

決済事業者・店舗絞り込み

日時	決済事業者	店舗名	売上金額	
	YOKAI Pay(店舗向け実店舗決済)	恵比寿店	2,839	返金処理へ
2021/06/28 18:36:40	atone(店舗向け実店舗決済)	横浜西口駅前店	4,746	返金処理へ
2021/06/28 15:41:55	commoney(店舗向け実店舗決済)	田町店	3,259	返金処理へ
2021/06/28 14:36:26	commoney(店舗向け実店舗決済)	田町店	3,384	返金処理へ
2021/06/28 14:10:01	Origami Pay(店舗向け実店舗決済)	恵比寿店	2,321	返金処理へ
2021/06/28 13:48:06	commoney(店舗向け実店舗決済)	田町店	3,259	返金処理へ
2021/06/28 13:24:12	atone(店舗向け実店舗決済)	横浜西口駅前店	4,978	返金処理へ
2021/06/28 11:57:23	Origami Pay(店舗向け実店舗決済)	恵比寿店	3,460	返金処理へ
合計			4,007,472	

事業者リンク

atone atone.

YOKA! Pay YOKA! Pay

更新ボタンを押すと最新情報を取得できます

連携している全決済サービスの明細が一つの画面で確認できます

CSVでダウンロード可能です

決済サービス・店舗で絞り込みも可能です

返金処理自体はJPQR売上管理画面ではできません

こちらのボタンを押すと、当該決済サービスの個別管理画面へ遷移できます

・各社個別管理画面ではログインが必要です
・ログイン後各社管理画面のトップページに遷移します

参考：返金処理方法

返金処理は、各社の売上管理画面から操作できます。

返金処理方法（メルペイの例）

Step1:
決済サービスの「管理画面」にログインします



管理画面を閲覧する際に、スマートフォンやタブレット、パソコン等のインターネット接続端末が必要となります

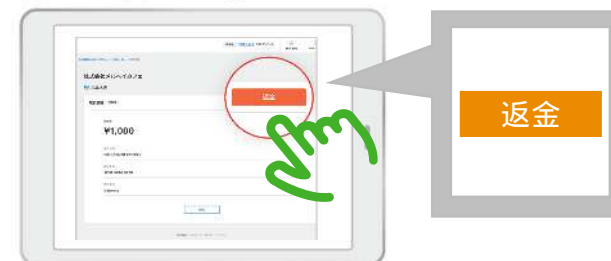
Step2:
管理画面のメニューから「取引一覧」を選択すると売上の履歴一覧を閲覧することができます



Step3:
取引一覧の中から返金したい該当の取引を選択し、詳細画面を開きます



Step4:
画面の「返金ボタン」を押すと返金処理が完了します。再度正しい金額にて決済を行ってください



詳しい個社ごとの返金操作方法は各社マニュアル等をご確認ください。

- 決済が完了した後に、取引された金額を変更することはできません
- まず該当の取引をキャンセルした後、お客様に正しい金額を打ち込んでいただき、再度決済を行ってください
- 返金処理はなるべく即時に行っていただくようお願いいたします。各決済サービスによって返金可能な期間が異なりますので、ご注意ください

2 . なぜJPQRがおすすりめなのか

統一QR「JPQR」の3つのおすすめポイント

JPQRは「複数のQRコード決済サービスを一括で申し込める」、「店頭に置くQRコードステッカーは1種類」、「導入費・維持費が0円」の3つが大きなメリットであり、店舗のキャッシュレス導入および幅広い決済サービス導入を大きく後押しいたします

一括申し込み



店頭ステッカーは1種類でOK



導入費・維持費0円



LINE Pay の新規受付は9月30日で停止しました

複数のQRコード決済サービスを一括申し込み

従来の申込の手間を省いて、申込フォーム入力も書類提出も、一括で手続き可能です
導入したいサービスを任意に選択し、後日追加も可能です

今まで

各社異なる申込フォーム入力と、書類の複数部の準備が必要

Aサービス、Bサービス、Cサービスを導入したい

✓ 異なる入力フォーム

✓ A社申込
フォームの入力



✓ B社申込
フォームの入力



✓ C社申込
フォームの入力



✓ 同じ審査書類の複数取得

✓ 必要書類の
準備・提出



✓ 必要書類の
準備・提出



✓ 必要書類の
準備・提出



A Pay



B Pay



C Pay



JPQR

フォームは一括入力！書類も一括登録！（郵送不要）
好きなサービスだけのお申し込みも可能

審査は個別に実施し、審査不備がある場合は対応が必要
一度登録いただければサービス追加申請も基本的に再入力不要
すでにご契約がある方もJPQRにステッカーを統一することが可能

✓ 申込フォームの入力



✓ 必要書類の準備・提出



✓ 利用したい決済サービスを
好きなだけ選択し一度に申請



LINE Pay の新規受付は9月30日で停止しました



店頭でのQRステッカーは1種類でOK

1枚のステッカーで各社の決済サービスに対応。スペースを取らず、シンプルで使いやすいQRステッカー1つで、幅広い決済サービス利用者を取り込めます

今まで

各サービス独自規格のQRコードなので、スペースをとり、ごちゃごちゃとした印象を与えてしまう。店側も管理が煩雑



使い方の自由度の高さ

持ち歩き自由、電源機器不要なので臨時のイベント対応や、インバウンド対応など多種多様なシチュエーションに対応できます！

店前のテイクアウト販売



イベント、屋台出店



JPQR

お客様が好きな決済サービスアプリを立ち上げて、1つのコードを読み取るだけ！見た目もスッキリ！QRステッカーの管理も楽に！



コロナ後の外国人観光客の取り込み対応



海外Payにも対応しています



導入費・維持費は0円

国のキャッシュレス普及推進活動の一環のため、JPQRそのものの導入費・維持費は無料。ご契約いただいている各QRコード決済サービスの手数料のみ、お支払いの対象となります

JPQRの維持・導入はコスト負担なし！

お客様が使ってはじめて手数料が発生

- ✓ JPQR自体の導入・維持費は**無料**
JPQR経由での申し込みに伴う中間手数料などは発生しません

JPQR

- ✓ 各QRコード決済サービスの導入費・維持費も**無料**
カード読み取り専用の端末等も必要ありません



専用端末の導入・維持費不要



お客様が、
お客様の端末で、
お会計金額入力



- ✓ お客様がQRコード決済サービスで支払いをした金額に対して手数料が発生します
一部サービスのみ振込手数料がかかる場合がございます



導入準備をして
ポップを置いておくだけなら
手数料はかかりません！



LINE Pay の新規受付は9月30日で停止しました

参考：JPQRと決済代行会社との比較表

	<参考> 決済代行会社	JPQR
契約関係イメージ図	<p>複数の決済手段をまとめて管理</p>	<p>・JPQR Web受付システム ・JPQR売上管理画面の提供</p>
運営主体	民間企業	協議会*（普及推進は総務省）
対応決済サービス	サービスによる	20社以上（QR決済:MPM静的）
導入申込	一括	一括
契約締結	一括	各社（申請は一括で可能）
↳審査	とりまとめ	各社
↳決済手数料率	一律（比較的高い、3.24%～）	各社（比較的安い、0%～3%程度）
↳入金日・サイクル・手数料	一括	各社ごと
↳売上管理	一括 ²	各社 + 一括 ²
導入・維持コスト	サービスによる	0円

JPQRはキャッシュレス決済導入状況を問わず、おすすめです

JPQRは前述の手軽さから、キャッシュレス未導入店舗様に導入しやすいと言えますし、大手QRコードサービスを網羅している為、コードの集約を目的とした店舗様にもお勧めできます

キャッシュレス未導入の店舗様

- 今まで現金のみでやってきて、手続きの腰が重い...
- 複雑な機械操作は慣れてなくてできない...
- 使われないのに利用費がかかるのが不安...

- ✓ 一括入力フォームで申込！コールセンターでサポート
- ✓ 決済はステッカーを見せるだけ！お客様が決済操作
- ✓ 手数料は使われた分だけ！初期費用・維持費無料
まずは2～3社から、スモールスタートにも最適



QRコード決済導入済みの店舗様

- 言われるまま導入してきてコードがたくさん...
- OPayを使う常連さんのために追加したいけど面倒...
- 売上管理をまとめたい...

- ✓ 既存利用QRサービスも一枚にまとめる
- ✓ Webからいつでも申込手続き
- ✓ 統一売上管理画面でまとめて管理！



参考：＜JPQR導入店舗の声＞

QRコードが1つにまとまるため、店舗オペレーションの負担軽減につながっています

case.1： カイロプラクティック

ひとりで営業しているため、手間の少ないJPQRは
とても楽で助かります。

以前からキャッシュレス決済は導入していて、QRコード決済も導入を検討していました。複数のQRコードがひとつにまとめられると新聞で知り、これは大きなメリットだと思ってJPQRに申し込みました。お店の面積も限られていますから、受付に台紙をひとつ置くだけでいいのは嬉しいですね。他の決済方法だと、決済のたびに専用機器を立ち上げなければいけないものもあります。受付から診断、施術までひとりでを行っていますから、お客様がQRを読み取るJPQRは手間や時間がかからず気持ち的にも楽で、助かっています。

JPQR導入の決め手

複数のQRコードがひとつにまとまる！

QRをお客さんが読み取るスタイルだから、店舗側の手間が少なく接客に余裕！



case.2： 飲食店

場所をとらずに、レジ周りがスッキリ。
オペレーションも簡単です。

キャッシュレスに対する世の中の関心が高まっているのを受けて、数年前からQRコード決済を導入しました。JPQRの導入は昨年からです。複数の決済サービスに対応すると、以前はQRコードをいくつも並べなくてはいけませんでしたが、台紙ひとつ置いておけばよいのは、JPQRの大きなメリットですね。お客様もキャッシュレス決済には慣れてきているので、JPQRの使い方も感覚でわかってもらえています。お店には若い外国人スタッフが多ですが、彼らも操作に迷うことなくオペレーションも簡単で、とても喜んでいきます。

JPQR導入の決め手

台紙がひとつで場所をとらない！

店舗スタッフのオペレーション教育も簡単！



参考：＜JPQR導入店舗の声＞

1枚のステッカーで複数サービスに対応しているため、小さい店舗やタクシー等においてもスペースをとることなく、設置できます

case.3： 音楽教室

QRコードがひとつになり、省スペースで、見た目もよく、お客様にもわかりやすい。

最近では現金を持たない方も増えてきているため、受講生の方のニーズに応えるためにここ数年、幅広い支払い方法を導入してきました。QRコード決済の場合、決済サービスを増やすごとに設置する台紙が増えてしまうため、どのように簡素化するかが課題でした。そんな折にJPQRを知り、QRコードがひとつにまとまることをメリットに感じ導入を決めました。どの手段で支払いが可能であるか、お客様にも提示しやすくなっているのも、非常に便利だと思います。お釣りを用意する手間が減ったのも嬉しいですね。

JPQR導入の決め手

1枚で、どのサービスが使えるかがわかりやすい！
お釣り（現金）を用意する手間が減った！



case.4： タクシー

お客様の取りこぼし防止には、JPQRのようなサービスの導入が不可欠でした。

よくあるのが「カード使える？」というお客様の質問。もしも「使えません」と答えれば、その人は別のタクシーを探し始めます。タクシーにとって、どんな決済方法にも対応できるようにすることは、見込み客を取りこぼさないための常なる課題です。将来的には、キャッシュレス決済がどんどん普及するはずですから、対象サービスが豊富なJPQRのようなサービスは待ち望んでいて、発表後すぐに申込みました。お釣りもないので会計時にパタパタせず、機器の準備も要らないので、使い勝手は非常にいいですね。

JPQR導入の決め手

対応しているQRコード決済サービスが多く、幅広いお客様のニーズに対応！
お釣りも機器も不要で支払いが簡潔！



参考：＜JPQR導入店舗の声＞

現金の受け渡しが必要ないため、衛生面においても効果的です。また、最近では自治体窓口においてもJPQRの導入が進んでおり、地域のキャッシュレス化に繋がっています

case.5： 弁当販売店

QR導入費・固定費0円と機器が不要であることは、複数店運営の大きなメリット。

屋台DELiは、オフィスビルの飲食フロアなどで、複数ブランドのお弁当を販売するお店です。さまざまな場所に出店している我々のような企業にとって、**導入費・固定費がかからないことは、JPQRの大きなメリット**だと思います。**機器が要らないので電源も不要、壊れない**というのも魅力ですね。現金を直接受け渡ししなくて済み、釣り銭の用意も以前より少なく、**食品を扱う業態のため衛生的にもお客様に喜ばれています**。店舗あたりの販売数も多く、店舗数も多いので、**売上管理画面も活用し、業務効率化につなげています**。

JPQR導入の決め手

導入費・固定費が0円！
機器・電源が不要で壊れない！
現金受け渡し不要で衛生的！



case.6： 地方自治体

市民の方が自由に決済方法を選べることが、利便性向上に繋がります。

自治体においても、キャッシュレス決済の導入・拡充が課題となっています。田原支所では以前、別のキャッシュレス決済を利用しており、非常に好評をいただいております。より**多様な決済サービスを小さなスペースで導入できる**と知り、今回JPQRの導入を決めました。以前は、タブレット端末のカメラで市民の方のスマホを読み取っていましたが、**JPQRはご自身のスマホで完結**するので、よりスムーズな支払い処理が可能になりました。**決済方法を市民の方が自由に選べる**ことも、利便性向上の点でとても重要だと考えます。

JPQR導入の決め手

複数の決済サービスを小さなスペースで導入！
スマホで完結、支払い処理がスムーズに！



3 . JPQRを導入するにはどうしたらいいか

JPQR導入までの全体像

申込はこちらのQRから！



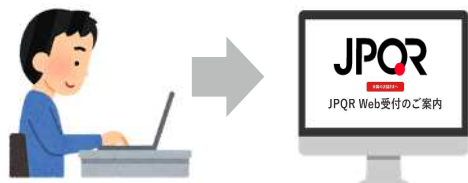
JPQRの導入は3ステップで完了します

申込サイト、メールをよくご確認ください、適宜コールセンターもご活用ください

店舗様ご対応

Step1 申込手続き

1. 必要書類の準備
2. システムへのアクセス&登録
3. 契約条件等の確認
4. 必要情報の入力・審査書類のアップロード



審査期間について

各決済サービスで審査が行われ、一社でも終わればスタートキットが送られてきます。通常3～4週間程度です

Step2 審査対応・初期設定対応

1. 審査不備があった場合、各社からの指示に従い対応
2. 各社審査完了メールが来たら記載内容に従い、管理画面の登録

審査完了した決済サービス
各社から順次メール送付



メールに従いID、パスワード等設定



台紙、マニュアルなども郵送されます



Step3 ステッカーの設置

1. 審査完了通知があった決済サービスのロゴシールをPOPに貼付



審査・初期設定が完了したサービスの
ロゴシールを張付



JPQR 利用開始！



申込者専用サポートについて
JPQR専用コールセンターにて対応
各決済サービス詳細については、
各社の窓口も適宜ご利用ください



JPQRコールセンター
0120-206-100
(平日9:00～18:00)

Step1-1 必要書類の準備

申込に際して、基本情報のほか、以下の審査書類をスマホ等のカメラで撮影しアップロードいただきます。



法人
<p>許認可写し 許認可写しのある業種のみ ...取り扱い商材によって、許可証の提出が必要です 飲食店・宿泊業・卸売 / 小売業・運輸業・サービス業・医療福祉・ 不動産業・鉱業・建設業の方など</p>
<p>登記簿謄本（履歴事項全部証明書 発行日より3ヶ月以内）</p>
<p>店舗の内観・外観の写真</p>
<p>事業内容が分かる資料 事業内容が確認できるホームページURLをお持ちでない方 ...各行政機関発行の許認可証、会社案内、パンフレット、チラシなど</p>
<p>以下決済サービスを申請する場合上記に加えて必要書類があります マイナンバーカードは不可</p> <p>PayPay「新規利用」を希望の場合：法人(申込担当者)の本人確認書類 下記のうちいずれか一つ ・運転免許証（表裏両面） ・日本国発行パスポート(顔写真付きページ + 住所記載欄) + 住所確認書類 ・在留カード/特別永住者証明証</p> <p>銀行Pay「新規利用」を希望の場合：法人(代表者)の本人確認書類 下記のうちいずれか一つ ・運転免許証（表裏両面） ・日本国発行パスポート(顔写真付きページ + 住所記載欄)</p>

個人事業主
<p>許認可写し 許認可写しのある業種のみ ...飲食店・宿泊業・卸売 / 小売業・運輸業・サービス業・医療福祉・ 不動産業・鉱業・建設業の方など</p>
<p>本人確認書類（有効期限内） マイナンバーカードは不可 下記のうちいずれか一つ ・運転免許証（表裏両面） ・日本国発行パスポート（顔写真付きページ + 住所記載欄）</p> <p>PayPay「新規利用」を希望の場合： パスポートを提出する場合には、 ・日本国発行パスポート（顔写真付きページ + 住所記載欄） + 住所確認書類 が必須となります。</p>
<p>店舗の内観・外観の写真</p>
<p>事業内容が分かる資料 事業内容が確認できるホームページURLをお持ちでない方 ...各行政機関発行の許認可証、会社案内、パンフレット、チラシなど</p>

Step1-2 Web受付システムへのアクセス & 登録

JPQR一括申込は、事業Webサイトにある「JPQR Web受付システム」から、いつでも手続き可能です。事業Webサイトに申込手順を詳しく掲載しています。

〇〇Payを導入済みの場合、当受付システムからJPQR導入として新規申請いただくことで、JPQRにまとめることが可能です



Step1-3 契約条件等の確認

各社の最新の手数料・規約等はWeb受付システムの契約条件で確認できます
またトップページから簡易的な手数料確認もできますので、申込の検討のご参考にしてください

最新手数料の確認方法

JPQR 事業Web受付システム「申込に関する同意・確認事項」
「[申込に関する同意事項および各決済事業者規約・契約条件等](#)」
クリック



簡易的な手数料確認方法

JPQR 事業Webサイトトップページ
「[導入をお考えの店舗さまへ](#)」クリック



各社サービス決済手数料、入金サイクル、入金手数料

決済サービス	JPQR 対応 (決済種別)	PLG 手数料 予定率	加盟店手数料率等 (JPQR の WEB 受付システムから申込の場合)	マイナ ポイント 対応
atone	対応済み	参加済み	2.4% (非課税)	非対応
WeChat Pay	対応済み	参加済み	1.5% (非課税) (※2)	非対応
au PAY	対応済み	参加済み	無料 (2022年9月30日まで) 2.6% (課税) 予定 (2022年10月以降)	対応
OK! Pay	対応済み	参加済み	1.5% (課税) ~1.8% (課税) (※2)	非対応
UnionPay (国際)	対応済み	参加済み	1.85% (非課税) (※2)	非対応
こい Pay (広島銀行のみ)	対応済み	参加済み	WEB 受付システム内手数料一覧参照 (※2)	非対応
Commonney	対応済み	参加済み	3.25% (課税)	非対応
J-Coin Pay	対応済み	参加済み	1.85% (非課税) (※2)	対応
d払い	対応済み	参加済み	1.80% (税込) (2021年6月30日まで) 2.80% (税込) (2021年7月以降)	対応
ほほ Pay (徳島銀行のみ)	対応済み	参加済み	2.0% (課税) (※2)	非対応
FamiPay	対応済み	参加済み	2.94% (課税) (※2)	対応

各社サービス決済手数料 (簡易版)

JPQR 参加予定決済サービス一覧 (2021年9月7日時点)

決済サービス	JPQR 対応 (決済種別)	PLG 手数料 予定率	加盟店手数料率等 (JPQR の WEB 受付システムから申込の場合)	マイナ ポイント 対応
PayPay	対応済み	参加済み	2.55% (課税) (※2)	対応
ほくろく Pay (住信銀行・生協銀行のみ)	対応済み	参加済み	WEB 受付システム内手数料一覧参照 (※2)	非対応
Money Tip	対応済み	参加済み	1.5% (非課税) (※2)	非対応
スルベイ	対応済み	参加済み	0% (2021年6月末まで) 2.4% (課税) (2021年7月以降)	対応
ゆうちょ Pay	対応済み	参加済み	WEB 受付システム内手数料一覧参照 (※2)	対応
YOMA Pay (福岡銀行のみ)	対応済み	参加済み	WEB 受付システム内手数料一覧参照 (※2)	非対応
LINE Pay (※5)	対応済み	参加済み	無料 (2021年9月30日まで) 1.90% (課税) 予定 (2021年10月以降)	対応
楽天ペイ (アプリ決済)	対応済み	参加済み	3.24% ~ (※4) (※6)	対応

※1 キヤッシュレス決済推進計画において作成された統一規格のガイドラインに対応し、決済事業者のアプリ上で JPQR を読み取りごとの決済が可能となること。
 ※2 各サービスに適用する決済種別と加盟店手数料率の組み合わせは異なります。
 ※3 Auペイやゆうちょペイ等加盟店決済サービスと利用可能なサービスと異なる場合があります。加盟店サービスでの決済では手数料率等の異なる可能性があります。加盟店サービス以外の決済は JPQR の決済では手数料率等の異なる可能性があります。
 ※4 決済額の差引による加盟店手数料率となります。
 ※5 LINE Pay の新規申込受付は 2021 年 9 月 30 日までです。
 ※6 2021 年 9 月現在、楽天ペイでは QR 決済手数料、自動入金手数料についてキャッシュレス決済キャンペーンを実施中です。対象となる加盟店には適用がありますので、詳しくは [こちら](#) をご確認ください。

参考：手数料参考情報

最新の各社手数料に関しては、Web受付システムよりご確認ください

JPQR 参加予定決済サービス一覧（2021年10月27日時点）

決済サービス	JPQR 対応 (店舗提示型) (※1)	PLUG 参加 予定時期	加盟店手数料率等 (JPQR の WEB 受付システムから申込み場合) (※3)	マイナ ポイント 対応
atone	対応済み	参加済み	2.4% (非課税)	非対応
WeChat Pay	対応済み	参加済み	1.5% (非課税) (※2)	非対応
au PAY	対応済み	参加済み	無料 (2022年9月30日まで) 2.6% (税別) 予定 (2022年10月以降)	対応
OKI Pay	対応済み	参加済み	1.5% (税別) ~ 1.8% (税別) (※2)	非対応
UnionPay (銀聯)	対応済み	参加済み	1.85% (非課税) (※2)	非対応
こい Pay (広島銀行のみ)	対応済み	参加済み	WEB 受付システム内手数料一覧参照 (※2)	非対応
Commoney	対応済み	参加済み	3.25% (税別)	非対応
J-Coin Pay	対応済み	参加済み	1.85% (非課税) (※2)	対応
d 払い	対応済み	参加済み	2.86% (税込)	対応
はま Pay (横浜銀行のみ)	対応済み	参加済み	2.0% (税別) (※2)	非対応
FamiPay	対応済み	参加済み	2.94% (税別) (※2)	対応

PayPay	対応済み	参加済み	2.95% (税別) (※2)	対応
ほくほく Pay (北陸銀行・北海道 銀行のみ)	対応済み	参加済み	WEB 受付システム内手数料一覧参照 (※2)	非対応
Money Tap	対応済み	参加済み	1.5% (非課税) (※2)	非対応
メルペイ	対応済み	参加済み	2.6% (税別)	対応
ゆうちょ Pay	対応済み	参加済み	WEB 受付システム内手数料一覧参照 (※2)	対応
YOKA!Pay (福岡銀行のみ)	対応済み	参加済み	WEB 受付システム内手数料一覧参照 (※2)	非対応
LINE Pay (※5)	対応済み	参加済み	1.98% (税別)	対応
楽天ペイ (アプリ決済)	対応済み	参加済み	3.24% ~ (※4) (※6)	対応

- ※1 キャッシュレス推進協議会において作成された統一規格のガイドラインに対応し、決済事業者のアプリで JPQR を読み取ることで決済が可能となること。
- ※2 各サービスに直接申し込む場合と加盟店手数料率が異なる場合があります。
- ※3 Air ペイやクラウドペイ等複数決済サービスを利用可能なサービスを契約されている方は、当該サービスでの決済と JPQR での決済では手数料率等が異なる可能性があります。(当該サービスや各サービスの QR は JPQR と併用可能です)
- ※4 お客様のお支払元により加盟店手数料率が異なります。
- ※5 LINE Pay の新規申込受付は停止しておりますが、導入済みの店舗さまでは、LINE Pay の決済は引き続きご利用いただけます。
- ※6 2021年9月現在、楽天ペイでは QR 決済手数料、自動入金手数料についてキャッシュバックキャンペーンを実施中です。対象となる加盟店様には条件がありますので、詳しくは[こちら](#)をご確認ください。

Step2-2 初期設定対応

各サービスの審査状況は、JPQR Web受付システムの「審査状況照会」にて確認できます。審査通過次第サービスごとに送付される審査結果メールに従い、「各社売上管理画面」を初期設定ください。並行して、各社の売上をまとめて閲覧できる「JPQR売上管理画面」も、スタートキット同梱のマニュアルに沿って設定ください

対応が必要な初期設定

1. 各社売上管理画面の初期設定

申込サービスの審査結果メールの確認



審査が通過した決済事業者から審査結果のメールまたは郵送が届くので、内容を確認し大切に保管ください

審査結果メールの留意点

- 審査結果は各社別々にメールで通知されます。迷惑メールフォルダへの振り分けやのメールの見間違いがよく起こりますので、ご注意ください
- キャリア携帯のメールアドレス宛ですと、設定によってはメールが届かない可能性があります。ドメインの解除手続きをお願いいたします

アカウント（IDやPASS等）の設定

審査結果メールの案内に従い、アカウント（IDやPASS等）設定し、初回ログイン等を事前にお済ませください



売上管理画面については、申込んだ決済サービス分、それぞれご設定いただく必要がございます

2. JPQR売上管理画面の初期設定

JPQR売上管理画面のアカウント設定

JPQRスタートキットに同梱されている「JPQR売上管理画面ご利用案内」に沿って、JPQR売上管理画面のアカウントを設定してください



各社のデータ連携

JPQR管理画面にて、各社のアカウント情報などを入力しデータ連携を行います



- データ連携方法や対応決済サービスおよび設定詳細については、マニュアルをご覧ください
- 連携可能な決済サービスは随時拡大予定です

JPQR管理画面は株式会社マネーフォワードが提供しています

Step3 ステッカーの設置

審査が1社でも通過すると、スターターキットが郵送されます。スターターキットが届いたら、台紙にシールを張り付けて、利用ください

標準で6枚送付

スターターキット内容物

全てのサービスのものが送られてくるので、申込、審査、初期設定が終わったものを台紙に張り付ける

■一体型帳票×1



■台紙ステッカーシート×1



■各社スターキット×n



■POP台紙×1



■JPQR売上管理画面利用マニュアル×1



汚れ、破れでも再発行可能（無料）

POP台紙にロゴシール貼り付け

完成！



おわりに

1

キャッシュレス、QRコード決済は、
今や全世代で広まってきています

2

JPQRは一括手続、1つにまとめ、
導入費維持費0円と入れやすく使いやすいです

3

サービス申込みや追加はHPから簡単に可能です

これを機に是非、JPQRの導入をご検討ください！

JPQR

をはじめよう

■ JPQR普及事業コールセンター：

0120-206-100（平日9:00～18:00）

（ご不明点・お申込み方法のお問合せ）

■ JPQRに関する情報：<https://jpqr-start.jp/>
「JPQR スタート」で検索



総務省によるJPQR推進事業は2022年3月31日までであり、本資料で紹介しているWebサイト・問い合わせ先・そのほかプロダクトに関連するツール等は、4月以降変更となる可能性があります。JPQRは今後も一般社団法人キャッシュレス推進協議会のもとで運用される予定です。

JPQRへのお申し込みは、ホームページからいつでも受け付けています。

ご不明な点などございましたら、問い合わせ窓口にお問合せください。 総務省 統一QR「JPQR」普及事業 事務局